



新発見、未知のエジプト。



第22回東京国際映画祭 アジアの風部門
The 22nd Tokyo International Film Festival
Winds of Asia-Middle East

〈2009日本におけるエジプト観光振興年〉記念事業

エジプト映画パノラマ
～シャヒーン自伝4部作と新しい波

Commemorative Event in "Egypt Tourism Promotion Year in Japan 2009"
Panorama of Egyptian Cinema

2009年10月17日(土)～23日(金) TOHOシネマズ六本木ヒルズ、シネマート六本木



エジプト映画シンポジウム
Symposia on Egyptian Cinema

10月18日(日) 日プログラム(12:00~、TOHOシネマズ六本木ヒルズ Screen2) 終了後ひきつき同会場にて実施

1896年の映画伝来から1世紀余りの歴史と伝統を誇る映画大国エジプト。世界的に活躍する映画人・文化人がエジプト映画の魅力に熱く語ります。

※上記日プログラムをご覧の方がそのままご参加いただけます。

1896年の映画伝来以来、1世紀を超える歴史と伝統を誇るエジプト映画。本2009年は「日本におけるエジプト観光振興年」であり、「海のエジプト展」をはじめ、さまざまな催しが各地で行われています。第22回東京国際映画祭アジアの風部門では、その一環として、在日エジプト・アラブ共和国大使館との共催により、「エジプト映画パノラマ」シリーズの自伝4部作と新しい「波」を開催し、中東唯一の映画大国エジプトのエッセンスを6つのプログラムにより紹介します。昨2008年7月に亡くなった巨匠ユーセフ・シャヒーン監督は、全4作からなる自伝的なアレキサンドリア・シリーズをライフワークとして発表しつづけてきた。自らの分身である主人公ヤヒヤとともに成長していくこの物語には、シャヒーン監督の個人史のみならず、激動の20~21世紀におけるエジプトと世界の関係が刻印されています。脚本家や助監督としてシャヒーン作品を支えたハリド・ユーセフの監督作品「正当なる背信」、「アラビアのロレンス」で知られる大スター、オマー・シャリフの健在ぶりを示す最新コメディ「ハサンとマルコス」など、エジプト映画の現在進行形にもご注目ください。



AアレキサンドリアWHY? (Alexandria...Why?) 1978年/カラー/133分

監督・脚本：ユーセフ・シャヒーン (Youssef Chahine)
出演：モフセン・モヒーディン (Mohsen Mokeddine) / ファリド・シャウキー (Farid Shawki)
解説：シャヒーン監督の半自伝的4部作、アレキサンドリア・シリーズの記念すべき第1作。1942年のアレキサンドリア。名門高校に通うヤヒヤはハリウッドのミュージカル映画やシェイクスピアに夢中の18歳。ナチス半島のドイツ軍が迫る中、ヤヒヤは俳優になることを目指して日夜演劇に没頭している。学園祭での舞台の成功に気を良くしたヤヒヤは劇場公演を試みるが、あえなく失敗。失意のヤヒヤであったが、ある女優にアメリカの名門演劇学校で学ぶことを勧められたことから留学への野心を燃やしはじめ、街中にひしめく連合軍兵士とそれを疎ましく思う国粋主義のエジプト人青年将校たち、闇市場を跋扈する商人たち、戦争資金やユダヤ人富豪など、私的な物語であらざるが故の背景として当時の政治・社会状況がいたるところに散りまわっている。本作はアラブ映画史上初めての監督自身による自伝的映画であると同時に、シャヒーン自身にとっても、より個人的なテーマを探索し始めるターニングポイントとなる記念碑的作品である。79年ベルリン国際映画祭銀熊賞、審査員特別賞受賞。日本でも1986年に一般公開された。(配給:シネマトリックス・アイディ)
上映日程: 10/17(土) 14:25~ TOHOシネマズ六本木ヒルズ Screen2
10/22(木) 15:50~ シネマト六本木 Screen4

Bエジプトの物語 (An Egyptian Story) 1982年/カラー/129分

監督・脚本・制作：ユーセフ・シャヒーン (Youssef Chahine)
出演：ヌール・シェリフ (Nour El-Sherif) / ユースラ (Yousra)
解説：アレキサンドリア・シリーズ第2作。著名な映画監督となったヤヒヤ、精神的ストレスと不眠症がたたり心臓を患う彼は、撮影中に発作を起こし、ロンドンで心臓バイパス手術を受けることになる。手術後に横たわり麻酔薬が注入されるや否や、ヤヒヤは夢とも幻覚ともつかない想像世界の中に迷い込む。そこでは法廷が開かれており、子供の姿をした彼の分身がヤヒヤを告発している。そしてこれまでのヤヒヤの半生がつぶさに映し出され、検証されていく。想像上の裁判の場面では過去と現在とを行きつ戻りつ、不遇な少年時代、兄の死、ベルリン国際映画祭での屈辱的な経験、プロデューサーとの確執など、ヤヒヤの楽しみ方がフラッシュバックとなって蘇る。また、ナセル大統領のスエズ運河国有化宣言など、実際のニュース映像も度々挿入され、エジプト現代史への目配りもなされている。ヤヒヤを演じた国民的名優ヌール・シェリフの熱演が光る。
上映日程: 10/18(日) 16:45~ TOHOシネマズ六本木ヒルズ Screen2
10/22(木) 19:20~ シネマト六本木 Screen4

Cアレキサンドリアー今も昔も (Alexandria, Again and Forever) 1990年/カラー/100分

監督・脚本・制作・出演：ユーセフ・シャヒーン (Youssef Chahine)
出演：ユースラ (Yousra)
解説：主人公ヤヒヤをシャヒーン監督自ら演じたアレキサンドリア・シリーズ第3作。並々ならぬ思い入れをもって準備してきた新作「ハムレット」。しかしヤヒヤの分身的存在ともいえる若き新進俳優アムルはハムレット役を無下に断る。アムルへの執着は目を追うごとに激しさを増し、彼をアレキサンダー大王に見立てた一大叙事詩映画を妄想しては恋心にも似た激情をやり過ごすヤヒヤ。そんな折、映画人らが結束し地位向上を求めてハンガーストライキを執行する。ヤヒヤもその中の一人であったが、そこで一際激しい情熱をもって活動に邁進する元女優のナーディアと出会う。美しく逞しい彼女の魅力に目を留めたヤヒヤは、アムルに後ろ髪を引かれながらも徐々にナーディアに惹かれていき……。シャヒーン組のユースラがナーディア役で抜群の存在感を放つ。年齢を超えたシャヒーンが歌い踊るミュージカル・シーンは必見。往年の伝説的ペリダンサー、タヒヤ・カリオカが本人役で出演しているのも見逃さない。
上映日程: 10/19(月) 16:20~ TOHOシネマズ六本木ヒルズ Screen3
10/23(金) 15:30~ シネマト六本木 Screen4

チケット販売について

10月3日(土) 前売券一般発売開始
詳しくは、東京国際映画祭公式サイト <http://www.tiff-jp.net>

- <チケットぴあ> ※購入にはPコードが必要となります。
- ①電話予約 0570-02-9999
 - ②@電子チケットぴあ <http://t.pia.jp/cinema/cinema.html>
 - ③全国のぴあStation/ぴあSpotにて店頭販売
 - ④全国のファミリーマート/サークルK・サンクスにて販売
- <ローソンチケット> ※購入にはLコードが必要となります。
- ①電話予約 0570-000-407
 - ②ローチケ.com <http://l-tike.com/>
 - ③全国のローソン店頭Loppiにて販売

<TOHOシネマズ 六本木ヒルズ>
映画祭開催期間中は劇場窓口にて前売券も取り扱いいます。

- 当日券
上映劇場でお求め方法が異なります。
【TOHOシネマズ 六本木ヒルズ 上映作品】
- 劇場窓口(10:00amから販売いたします)
 - チケットぴあ、ファミリーマート、サークルK・サンクスにて販売
- ※販売時間などの詳細は公式サイトをご確認ください。
- 【シネマト六本木 上映分】
- 劇場窓口(10:00amから販売いたします)

- お問い合わせ
●TIFF公式サイト
[PC] www.tiff-jp.net [モバイル] www.tiff-jp.net/m/
●ハローダイヤル
03-5777-8600 050-5541-8600 (8:00~22:00)



Dアレキサンドリアーニューヨーク (Alexandria, New York) 2004年/カラー/135分

監督・脚本：ユーセフ・シャヒーン (Youssef Chahine) 脚本：ハリド・ユーセフ (Khaled Youssef)
出演：マフムード・ハミード (Mahmoud Hemida) / ユースラ (Yousra) / レブレバ (Lev Leba)
解説：3部作完結後、14年の歳月を経て追加されたアレキサンドリア・シリーズ最終章。いまや老齢期に差し掛かった映画監督ヤヒヤ。ニューヨークで自作映画「カイロ中央駅」がリズベクト上映されるが、そこかつての恋人ジンジャーと再会する。彼女は19歳の時カリフォルニアの演劇学校で出会い、甘く希望に満ちた日々を送っていたのだ。それから40年。それぞれの道を歩いてきた2人だったが、ヤヒヤはジンジャーが自分の息子を産み育てていることを知る。それはたった一晩だけの再会の夜に授けられた子であった。しかし息子イスクンダル(アラビア語でアレキサンドリアの意)は頑としてヤヒヤに心を開こうとせず……。アレキサンドリアとニューヨーク。40年代のジンジャーとの重宝と、現在の息子との確執。心温かいジンジャーと、冷淡な息子。こうした対比を通して、「9.11」後のアメリカとアラブ世界との関係が象徴的に描かれている。かつてアメリカに強い憧れを抱いていたシャヒーンの失望と悲しみがうかがえる作品。華やかなダンスシーンも見もの。
上映日程: 10/19(月) 19:30~ TOHOシネマズ六本木ヒルズ Screen3
10/23(金) 18:50~ シネマト六本木 Screen4

E正当なる背信 (Justified Betrayal) 2006年/カラー/118分

監督・脚本：ハリド・ユーセフ (Khaled Youssef)
出演：マイ・イッズディーン (Mai Ezzidine) / ハニー・サラマ (Hani Salama)
解説：『炎のアンダルシア』(97)、『他者』(99)の人気美形俳優ハニー・サラマ主演の本格アクション・スリラー。資産家の息子ヒシャームは、父の死後、兄が全財産を相続したことを苦しく思っていた。ある日、愛人のシャハドから兄が自分の妻と浮気していることを知らされたヒシャームはベッドで2人を射殺し逮捕されるが、法廷では無罪を勝ち取る。無事兄のポストを受け継ぎ順風満帆のように見えたヒシャームだったが、やがて彼の周囲に張り巡らされた陰謀を目の当たりにすることになる。ヒシャームや愛人、捜査官といった複数の視座から語る本作の手法は何が真実なのかを曖昧にし、最後まで観客をハラハラさせる。監督は、故シャヒーン監督の愛弟子で、『炎のアンダルシア』以降、ほとんどのシャヒーン作品で師をアシストしてきたハリド・ユーセフ。愛人役を演じたスメイヤ・エルハッシャープ(『ヤコビーエンビルディング』)をはじめ、オールスターキャストの華やかなエンターテインメント作品となっている。
上映日程: 10/18(日) 20:30~ TOHOシネマズ六本木ヒルズ Screen3
10/23(金) 12:00~ シネマト六本木 Screen4

Fハサンとマルコス (Hassan and Morkos) 2008年/カラー/134分

監督：ラミ・イマム (Rami Imam) 出演：オマー・シャリフ (Omar Sharif) / アーデル・イマム (Adel Imam)
解説：『アラビアのロレンス』(62)、『ドクトル・ジバコ』(65)で知られる国際的スター、オマー・シャリフと、『テロリズムとケバブ』(92)などエジプトの喜劇王にして国民的スターのアーデル・イマムの競演でおくる社会派コメディの問題作。イスラム教のシェイフ、アッタル(シャリフ)はイスラム過激派組織の指導者になることを拒否したことからの脅迫を受け、命を狙われることに。一方、キリスト教の司祭ボロス(イマム)は、宗教間対話のシンポジウムの席でキリスト教強硬派を痛烈に批判し、同様に生命の危険にさらされることになる。その後治安機関の助けを得て、アッタルはキリスト教徒のマルコスとして、ボロスはイスラム教徒のハサンとして、それぞれ潜伏生活を送ることとなった。2人は偶然、カイロの下町で隣人同士となり意気投合するが、やがて互いの正体がバレてしま……。本作は2008年のエジプトで大成功を収めたが、近年、多数派のイスラム教徒と少数派のキリスト教徒との間で緊張が高まっていることもあり、大きな論議を呼ぶことにもなった。

苦い権利 (Bitter Right) 2008年/22分/DVD上映

監督：ゼイナブ・アブドゥルラザーク (Zeinab Abdel-Razzak)
解説：エジプトの離婚問題に切り込んだ女性監督による短編ドキュメンタリー。離婚を経験した女性たち、離婚後扶養の法的手続きにかかる関係者・関係団体へのインタビューを通して、エジプトにおける扶養・養育費の支払の実態とその問題点に迫る。離婚件数が決して少なくないエジプトでは、離婚扶養料の裁定が下るまでに数ヶ月から数年かかる一方、生活苦のなか、子供を養うために道を踏み外す女性たちもいるという。厳罰の行政と拘り定規なお役所仕事の犠牲となるのは常に女性と子どもである。子供を抱えた離婚女性が厳しい現状を切々と訴える姿は胸を打たずにはいられない。
上映日程: 10/18(日) 12:00~ TOHOシネマズ六本木ヒルズ Screen2
10/22(木) 12:00~ シネマト六本木 Screen4

作品ゲスト(予定)

- ①ハリド・ユーセフ(『正当なる背信』監督、『アレキサンドリアーニューヨーク』脚本)
- ②ゼイナブ・アブドゥルラザーク(『苦い権利』監督)
- ③マフムード・ハミード(『アレキサンドリアーニューヨーク』出演)
- ④レブレバ(同)

その他、以下のエジプト映画人・文化人が来日予定!(alphabetical list)
Dr. Khaled Abdelgelil (Head of the National Film Center)
Ms. Lamees Elhadidy (Prominent media figure and editor-in-chief of Alkhan Alyoum Newspaper)

Mr. Mamdouh Elleithy (Head of the Egyptian Cinema Authority)
Ms. Amal Osman (Editor-in-chief, Akhbar Elnougoum Magazine)
Ms. Mona Ragab (Film critic and prominent media figure)
Dr. Dorreia Sharafeldin (Prominent media figure specialized in cinema)
Ambassador Nehad Zekry, Assistant Foreign Minister for Cultural Affairs
※上映作品・ゲストは変更になる場合があります。ご了承ください。

■上映日程一覧

TOHOシネマズ六本木ヒルズ		シネマト六本木	
10/17(土) 14:25A	18(日) 20:30E	10/22(木) 12:00F	23(金) 12:00E
18(日) 12:00F	19(月) 16:20C	15:50A	15:30C
16:45E	19:30D	19:20E	18:50D

東京都港区六本木6-10-2
六本木ヒルズけやき坂コンプレックス内

東京都港区六本木3-8-15

■チケット料金一覧

部門/企画名	会場	スクリーン	Pコード	Lコード	前売料金	当日料金
アジアの風	TOHOシネマズ六本木ヒルズ	2	560-412	39543	¥1,300	¥1,500
		3	560-413	39544		
	シネマト六本木	4	560-418	39549		

